

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
2.(社)恩賜財団 母子愛育会	<p>・次のような研修事業を実施する</p> <p>母子愛育会： 保健所・市町村の医師、保健婦、助産婦、看護婦、栄養士等を対象に地域母子保健講習会(5回)</p> <p>病産院の医師、助産婦、看護婦を対象に周産期医療研修(4回)</p> <p>保健所・市町村の医師、保健婦、助産婦、看護婦、栄養士、相談員等を対象に母子保健セミナー(6回)(民間職場の職員も含む)</p> <p>愛育班員等研修会(2回)地方研修・全国愛育会支部にて開催の愛育班育成者、愛育班員研修(15回)</p> <p>子ども家庭総合研究所 「健やか親子21」など国の政策課題に対応する9つの研究課題を設定し、研究に取り組んでいる</p> <p>平成13年11月を旨途に「子ども総研式・子育て支援質問用紙」を刊行する</p> <p>子ども総研のホームページ中に「愛育ネット」を設け、「健やか親子21」の解説、国や地方の取り組みをネット上で紹介している</p>	<p>母子愛育会 左記の通り、～ について実施する</p> <p>子ども家庭総合研究所 左記の通り実施する</p> <p>については、「子ども総研式・子育て支援質問用紙」刊行</p>	H13年度に準じた計画を実施予定
3.(財)家庭保健生活指導センター	<p>・母子保健相談室(270会場)の開催、共働き家庭子育て休日相談事業の実施、相談事業教材「心を育てるテキスト」の作成配布</p>	・245ヶ所の母子保健相談室にて母子保健相談を実施した	・平成十四年度も地域の母子保健相談室にて事業を継続し、育児不安の軽減・解消に取り組みたい
4.(社)国民健康保険中央会	検討中	検討中	検討中
5.子どもの心・体と環境を考える会	<p>・小学校へ小児科医が頻回に訪問し、授業の観察研究と生徒や教師の健康相談に応じる</p> <p>・インターネットメーリングリストを利用した他業種間の情報交換と学術的研究グループの結成</p> <p>・患者や生徒への質的方法による情報収集と調査研究・患者ボランティア団体結成</p>	<p>第3回学術大会 開催 12月22日 名古屋国際会議場 約100名</p> <p>概要:講演「健康な学校」、2つのシンポジウムや「子どもの健康と学校」「アレルギーと学校生活」を行った。医療・教育分野からさまざまな職種の専門家が子どもの健全な生活について話し合った。</p> <p>研究会誌「子どもの健康科学」第2巻 第1号発行 概要:第2回大会のシンポジウム「不登校の子ども達から学んだこと」「医療と心」を掲載した研究会誌200部発行、配布した。</p> <p>テーマ別研究会「質的研究」2月23日 昭和大学医学部 参加者約30名 概要:日本の研究で最も遅れている「質的研究」の手法について研修会を行い、会員の研究手法の向上を図った。</p>	<p>東京において第4回学術大会「新しい世紀を担う子どもの健全な育成のために」をテーマに2日間開催する。</p> <p>会員の質的向上を目指した研修会「テーマ別研究会」において、研究や実践で役立つ子どもに関するテーマを取り上げ、定期的開催する。</p> <p>研究会誌、第3巻 1号、2号を発刊する。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
6. 児童虐待防止協会	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談(月～金曜日の指定時間)の厳正な励行 相談活動で知り得た児童虐待、子育ての実態の分析と評価をなし、これらの結果を刊行物にして配布する 児童虐待の発見・通告(通報)と専門機関への付託の技法の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談(月曜～金曜) 平成12年度統計報告 関係機関との懇話会開催(参加42団体) 関西虐待防止電話相談協議会開催(6団体) マザーグループ活動 母へのケアを考える会発足(個人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談(月曜～金曜)の励行 電話相談からの相談内容分析 関係機関との懇話会開催 関西虐待防止電話相談協議会開催 マザーグループ活動 母へのケアを考える会開催 平成13年度電話相談統計報告及びマザーグループ活動報告書作成
8. 全国児童相談所長会	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの児童相談所のあり方に関する調査」報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの児童相談所のあり方に関する調査」報告書 H13年11月 	<ul style="list-style-type: none"> 「児童虐待防止法」の見直しに向けたアンケート調査の実施
9. 全国児童相談所心理判定員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の防止に関する法律の見直し時期をふまえ、児童相談所心理職の意見を集約し検討する 全国児童相談所(心理職)の虐待問題への取り組みの現状等について会報で紹介していく 	<ul style="list-style-type: none"> 「児童相談所の虐待相談における心理職の仕事について」全国の児童相談所の取り組みの現状等アンケート調査(13年7月) 全国心理判定員セミナーで、意見交換会実施(13年11月) 年4回の会報で の結果等報告 	<ul style="list-style-type: none"> 虐待相談の諸心理アセスメント及び親の治療指導プログラム作成の検討
10. 全国市町村保健活動協議会(NPO)	<ul style="list-style-type: none"> 機関誌「全保協ニュース」(隔月発行13,000部)に時宜を得た情報の収集を行う 全国研修の中で、講演、シンポジウム、グループディスカッションなどのテーマに取り上げる 地方で会員協議会が取り組む事業の中に反映できるように勧奨を行っていく 	<ul style="list-style-type: none"> 通算6回の本会機関誌「全保協ニュース」を発行し、毎月何らかの形で課題のテーマに関する情報を提供、地方日刊紙掲載の関連記事の紹介などを行った(13,000部発行) 「市町村保健活動モデル事例集」を発行し、母子保健を含む優秀活動事例(アンケート及び実地調査で把握)の紹介を行った 全国研修において、健康日本21地方計画をめぐる課題をテーマにシンポジウム及び参加者によるグループ討議を行った 	<ul style="list-style-type: none"> 機関誌「全保協ニュース」(隔月発行13,000部)において課題のテーマを対象に情報伝達を図る 全国研修会の中で、講演シンポジウム、グループディスカッションなどのテーマにとりあげ、その成果を広く広報する 地方での会員協議会が取り組む事業(自主研修等)の中に課題のテーマをとりあげるよう勧奨する

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
11. 全国社会福祉協議会		<p>「ふれあい・子育てサロン」活動の推進</p> <p>地域を拠点に子育ての当事者やボランティアなど地域住民が、自主的な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間づくりを行う「ふれあい・子育てサロン」活動を推進した。また、モデル事業として10都道府県・指定都市の40サロンを指定し、児童虐待防止のための活動手法について研究を行った。</p> <p>・報告書：「ふれあい・子育てサロン」活動の開発のための調査研究報告書（本編・調査編）、「ふれあい・子育てサロン」活動事例集</p> <p>全国実態調査によって、現在の全国の子育てサロン活動の取り組み状況を明らかにするとともに、ヒアリング調査などを通じ、「ふれあい・子育てサロン」活動推進のための方法や留意点などを明らかにした。また、活動事例集の作成により、子育てサロンの具体的な活動イメージを明示できた。</p> <p>調査研究報告書ならびに事例集を全市区町村社協等に配布することにより、「ふれあい・子育てサロン」活動の取り組みが全国に広まることが期待される。</p> <p>・「ふれあい・子育てサロン」活動推進全国セミナーの開催 平成14年3月11日 全社協「灘尾ホール」 262名</p> <p>「ふれあい・子育てサロン」活動全国実態調査およびモデル推進地区における調査の結果を踏まえ、セミナーを開催した。「ふれあい・子育てサロン」活動推進全国セミナーを通じ、全国の参加者に対し、「ふれあい・子育てサロン」活動の必要性、および具体的展開方法などを周知することができた。</p>	<p>児童虐待防止事業の実施</p> <p>市区町村社会福祉協議会において、児童虐待防止事業として民生委員児童委員協議会、児童福祉施設および関係機関・団体とともに子育て相談、子育て体験、子育てサロン等の実施促進をはかるため、14年度、市区町村社会福祉協議会におけるこれら事業の取組に対して助成を行う。</p> <p>「ふれあい・子育てサロン」活動の推進</p> <p>「ふれあい・子育てサロン」活動について、13年度の調査結果をもとに、「ふれあい・子育てサロン」活動展開のためのマニュアルおよびビデオを作成する。あわせて、都道府県・指定都市社会福祉協議会をモデル推進地区に指定して、新規の「ふれあい・子育てサロン」活動の展開を図るとともに、全国的な展開に向けての活動手法の開発・検証のために必要な調査研究を実施する。</p> <p>主任児童委員および児童委員活動の強化に向けた取り組み</p> <p>平成13年の主任児童委員の増員（単位民児協への複数配置、主任児童委員定数20,471人）に伴い、主任児童委員および児童委員活動の強化に向けた取り組みを行う。また、昨年度の成果をもとに14年度も引き続き、民生委員・児童委員による新しい相談・支援活動の研究と取り組みを推進するとともに、地域における民生委員による相談体制の確立に向け、各種研修を実施する。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
11.全国社会福祉協議会		<p>児童虐待防止キャンペーンの実施全国保育協議会では、児童虐待防止啓発パンフレットを作成し、保育所および利用者に配布するなど「児童虐待防止キャンペーン」を実施するとともに、「子どもの笑顔を守るために～児童虐待防止に向けた保育所の取り組み事例集」の作成・配布を行った。</p> <p>民生委員・児童委員による新しい相談・支援活動のあり方に関する調査・研究地域の子育て支援、児童虐待への対応等民生委員・児童委員による新しい相談・支援活動事例を収集するための調査を実施し、「民生委員・児童委員による新しい相談・支援活動のあり方に関する調査・研究事業中間報告書」をとりまとめた。</p> <p>児童養護施設における児童虐待への対応虐待を受け入所した児童に対応するため、児童養護施設に心理療法担当職員が配置されたが、そのより効果的な事業展開にむけて他の職員集団との連携や生活の場における心理療法のあり方等を検討し、報告書を作成した。また地域における虐待の予防を推進するために、児童家庭支援センターのあり方を検討し、今後の課題を報告書にまとめた。</p> <p>・報告書「児童養護施設における心理的援助のあり方および児童家庭支援センターにおける地域支援のあり方検討報告書」、</p>	<p>児童福祉施設のあり方検討</p> <p>地域における子育て支援の推進ならびに子ども虐待防止を含む、今後の保育所、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設等児童福祉施設のあり方について検討をすすめる。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会	<p>・施設長会、総会並びに年3回職員研修会において「健やか親子21」の内容と取り組みの周知を図る</p>	<p>公開研修会「子ども虐待に関する関係職員研修会」(対象:児童施設職員・児童相談所・教育相談機関・医療機関等)</p> <p>・第1回 平成13年7月27日(於:ホテルニュー京都) 演題:「被虐待児と家族への支援」 講師:桐野由美子氏 京都ノートルダム女子大学助教授 約200名参加</p> <p>・第2回 平成13年10月12日(於:ホテルモナーク鳥取) 演題:「いのちを育む器 - 周産期からの予防的ケア -」 講師:橋本洋子氏 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 周産期センター臨床心理士 約200名参加</p> <p>・第3回 平成13年10月19日(於:メルパルクYOKOHAMA) 演題:「児童虐待 - 子どもにみられる特徴と治療的かわり」 講師:若田泰子氏 神奈川県立子ども医療センター 約200名参加</p> <p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第38回)</p> <p>・平成13年7月25日(水)～27日(金)</p> <p>・テーマ「虐待への取り組み」</p> <p>・基調講演・パネル討論・分科会症例研究・ワークショップ・特別講演・施設見学・於:ホテルニュー京都 開催担当:京都市青葉寮</p> <p>心理治療部会研修会(第22回)</p> <p>・平成13年10月11日(木)～12日(金)</p> <p>・テーマ「発達障害を伴う情緒障害児の心理治療」</p> <p>・基調講演・症例研究・シンポジウム・特別講演・施設見学</p> <p>・於:ホテルモナーク鳥取 開催担当:鳥取子ども学園希望館</p>	<p>公開研修会</p> <p>「引きこもりと家庭内暴力に関する関係職員研修会」</p> <p>(対象:児童施設職員・児童相談所・教育相談機関・医療機関等)</p> <p>・第1回 平成14年8月9日(於:名古屋クラウンホテル)</p> <p>演題:「引きこもりの子どもと親への支援」 - 思春期精神医学の立場から - 講師:青木省三氏 川崎医科大学大学教授</p> <p>・第2回 平成14年11月1日(於:ヴィアール大坂)</p> <p>演題:「引きこもり及び家庭内暴力について」 講師:花田雅憲氏 近畿大学名誉教授</p> <p>・第3回 平成14年11月中旬(於:仙台市内を予定)</p> <p>パネルディスカッション「社会的引きこもりをいかに援助するか」 講師:小林純子氏(チャイルドライン in Miyagi) 飯室 勉氏(仙台ダルク) 石川 透氏(東北会病院) 大塚憲治氏(宮城県小田原母子寮) 加藤裕子氏(仙台市精神保健福祉総合センター) 鈴木俊博氏(キャブネットみやぎ)</p> <p>司会:大坂 純氏(仙台白百合大学) 司会:大坂 純氏(仙台白百合大学)</p> <p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第39回)</p> <p>・平成14年8月7日(水)～9日(金)</p> <p>・基調講演・パネル討論・分科会症例研究・ワークショップ・特別講演・施設見学</p> <p>・於:名古屋クラウンホテル 開催担当:愛知県立ならわ学園</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
12. 全国情緒障害児短期治療施設協議会		<p>生活指導部会研修会(第22回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成13年10月18日(木)～19日(金) ・テーマ「生活指導における援助的関わりについて」 ・基調講演・施設見学・症例研究・特別講演 ・於:メルパルクYOKOHAMA開催担当:横浜いずみ学園 <p>研究紀要の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年3月末(編集:さざなみ学園) ・「心理治療と治療教育」第13号 ・専門治療者向けケースブックの発行(1万冊) ・平成14年3月末(編集:全国情短協議会専門治療者向けケースブック編集委員会) ・「心をはぐくむ - 総合環境療法の実際 - 」 	<p>心理治療部会研修会(第23回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年10月10日(木)～11日(金) ・テーマ「児童虐待と発達障害」 ・基調講演・症例研究・シンポジウム・特別講演・施設見学 ・於:五色台国民休暇村 開催担当:四恩の里若竹学園 <p>生活指導部会研修会(第23回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年10月31日(木)～11月1日(金) ・テーマ「児童虐待における保護者・子どもへの援助的関わりについて」 ・基調講演・分科会症例研究・施設見学・特別講演 ・於:ヴィアール大阪(大阪市職員互助組合会館) 開催担当:大阪市立児童院 <p>研究紀要の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年3月末(編集:京都市青葉寮) ・「心理治療と治療教育」第15号 ・相談担当者向けハンドブックの発行(2万冊) ・平成14年3月末(編集:全国情短協議会相談担当者向けハンドブック編集委員会) ・「心をはぐくむ - 引きこもりおよび家庭内暴力の子と親への支援 - 」 ・情緒障害児短期治療施設自主評価基準作成 ・平成14年末編集。平成14年度末製本
13. 全国助産師教育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員に対して「健やか親子21」を周知するため、年度総会において報告書全文を配布する ・参加者主体の保健指導方法について、今年度の研修会テーマに取り上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国助産婦教育協議会のニュースレター31号(5月20日発行)にて、「健やか親子21」への参加について、「健やか親子21」の概要、推進協議会、規約、本会の行動計画を掲載した ・第37回全国助産婦教育協議会総会が、平成13年6月1日(金)～2日(土)に、東京都ナースプラザにて開催された。その中で、広報委員会から、ニュースレター31号(5月20日発行)にて、「健やか親子21」の推進協議会団体に本会が加盟したことを掲載している報告がされた。また、関東・甲信越地区活動報告として「地域母子保健活動のための家庭訪問データベースシート」が作成され「助産婦のための地域母子保健マニュアル」とともに活用が推進されるよう報告された ・ニュースレター32号(8月29日発行)にて、地域において育児不安やノイローゼ、虐待のボーダーを少しでも軽減させたいと助産婦で保育園を開設した「めぐみ保育園・母と子の相談室」(高知県)の弘田恵子さんの活動を紹介した 	<ul style="list-style-type: none"> ・第38回全国助産婦教育協議会総会が、平成14年5月24日(金)～25日(土)に開催予定で、平成13年度全国助産婦教育協議会事業計画であった、「助産婦教育制度ならびに教育内容の検討」「助産婦教育担当者の研修と生涯学習の推進」「助産婦教育に関する資料の収集と整理および広報活動の推進」等の結果や、また、地区別の検討課題であった「4年制大学における助産婦教育の検討」・「関東甲信越地区」の調査結果が報告される予定 ・その結果から、今年度の具体的な行動計画を決定する

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
14.(社)全国ベビーシッター協会	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度にスタートした「ベビーシッター資格認定制度」を広く広報し、一人でも多くの有資格者を輩出し、在宅保育サービス(ベビーシッター)における資格認定の重要性と必要性を目指して活動する わが国における在宅保育サービス(ベビーシッター)の実態把握のために毎年行っている「実態調査」を引き続き行うことに加え、児童虐待に関しても、在宅保育の観点から調査・研究を行う ベビーシッターの更なるスキルアップを目指し、より実践的な研修内容及び教材の開発作成を行う 協会ホームページの充実等、最新情報の広報に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 当協会「事務局だより5月号」にて、「健やか親子21推進協議会」への参加と「健やか親子21」の設立主旨、概要等を掲載した 更なるスキルアップを目指し、実践研修として産後間もない母子のケアに対するベビーシッターの役割について学ぶために「産後ケアサービス」のビデオ教材を作成した 13年度の資格認定試験において、新たに163名の「認定ベビーシッター」が誕生し、認定ベビーシッターは、403名となった 在宅保育サービス援助事業(割引券の発行)の推進 ベビーシッターの実態調査を行い「2001ベビーシッターNOW」として報告書を作成 ベビーシッターに対する研修会を、全国13ヶ所で実施 情報誌「ベビーシッター情報」を年4回発行し、官公庁、企業、団体、利用者等に配布 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅保育者のための初の体系的な教科書『ベビーシッター講座(全2巻)』の編集、発行。ベビーシッターをはじめとするすべての在宅保育者に在宅保育の理論と実践を学んでもらうことを目的とする。 実践研修として「在宅保育に役立つ遊び 乳児編」のビデオ教材を作成し、シッターの資質向上を目指す。 全国各地において「育児セミナー」を開催する。 “家庭での子育てを支援する保育サービス”としてのベビーシッターサービスの今後に関する研究を行う。
15. 全国保健所長会	<ul style="list-style-type: none"> 全国保健所長会に設置している地域保健推進委員会で、全国各地で取り組みを行っている個別事業について把握するとともに、課題解決に向けての方策を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> (1)「健やか親子21」に関するアンケート調査実施(対象:全国保健所長) 調査内容:都道府県型保健所の市町村支援の取り組みについて 政令市型保健所の取り組みについて 保健所の母子保健に関する「一押し事業」について 調査結果:他の保健所に参考になる事例等をまとめ報告書を作成中 調査結果を学会及び雑誌等へ発表予定 	<ul style="list-style-type: none"> (1)H.13のアンケート調査結果を基に「健やか親子21」推進のため保健所の役割と方向性を明確にするための行動計画の作成予定 (2)「健やか親子21」関連の調査研究(地域保健総合推進事業)の実施 課題名「児童虐待防止対策における保健所の役割」目的:児童虐待防止対策における保健所の果たす役割を明確にする

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
16.(社)全国 保健センター連 合会	<p>・既存の研修会のテーマを健やか親子21の課題、特に課題4に関する母子保健事業計画策定に重点をおき企画する</p> <p>・保健センターにおけるホームページ開設を推進して、若い世代への情報の提供や相談の充実を図る</p> <p>・「全保連事業のあり方に関する懇談会」の提言から、特に都市部対策を実施予定</p>	<p>・研修会 母と子のこころの健康づくり中央研修会(86名参加) 開催地区:東京都母子保健事業研修会 6地区開催:札幌市、山形市、新潟市、大府市、広島市、鹿児島市</p> <p>・研究「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の検討 13年度は研究目的、内容、手法等について討議 14年度に実施予定</p> <p>「健やか親子21」第4課題幹事会(代表:前川小児保健協会会長)を中心に、モデル地区を設定して研究を行うことを決定。全国各地に支援システムを構築し、子どもの安らかな発達、育児不安の軽減、児童虐待の防止などを行う</p> <p>・絵本と出会う・親子ふれあい事業 絵本を媒体として、親と子のコミュニケーションを豊かに育み、地域の育児支援ネットワークを広げる</p> <p>(1)モデル事業 32地区(保健センター)を設定 (2)フォーラム開催クコーナー 東京:2月19日 新宿・厚生年金会館(191名参加)大 阪:3月14日 大阪ガーデンパレス(120名参加) (3)パンフレット作成 「絵本と出会う」(保健センターを拠点とする育児支援のために) 5,000部 保健センター、保健所、都道府県、図書館児童館及び関係NPO等に配布</p> <p>・出版物等 子育て関係のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布及びプレイコーナー備品(育児用遊具)の配分 ・ホームページによる情報提供に関する検討 全国市町村の保健センター(保健部局)・ホームページ実態調査を実施</p>	<p>・研修会 母と子のこころの健康づくり中央研修会開催地区 :東京都母子保健事業研修会6地区開催:北海道、秋田県、東京都、京都府、高知県、北九州市</p> <p>・研究「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の実施 モデル地区 8地区程度設定地域における関係機関、団体をボランティアが各地区に適した連携システムを構築</p> <p>・絵本と出会う・親子ふれあい事業 絵本を媒体として、親と子のコミュニケーションを豊かに育み、地域の育児支援ネットワークを広げる</p> <p>(1)モデル事業 60地区(保健センター)を予定 (2)研修会 本事業のスタッフを対象に、事業活動のノウハウについて研修。2ヶ所 (3)パンフレット作成、配布 地域広報の活用素材提供 (4)モデル事例集(報告書)の作成、配布 (5)ホームページによる事業の紹介</p> <p>・出版物等 子育て関係のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布及びプレイコーナー備品(育児用遊具)の配分 ・ホームページによる情報提供に関する検討 全保連ホームページに全国の保健センター・ホームページをリンク 保健センター・ホームページの活用方法の検討</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	<ul style="list-style-type: none"> ・13年度設置の専門部会に委員として出席(秋田県) ・広報の「健やか親子21」を掲載 ・心の面に重点を置いた育児サークル、子育て教室を開催 ・看護協会と共同の活動検討(未定) ・相談のためのパンフレット作成も考えている ・静岡県西部地区でキャンペーンの予定 	<p>子育てよらず相談の実施</p> <p>「児童虐待評価チェックリスト(乳幼児版)」を活用、臨床と地域の連携強化を試行</p> <p>「育児サークル」「子育てネットワーク」づくりの推進と「育児サークル」「子育てネットワーク」等を通して、虐待予防を含む子どもの心の安らかな発達の促進と育児支援を実施</p> <p>日常の保健福祉事業(乳幼児健診・家庭訪問)における支援実施</p> <p>(例)静岡支部: 「子育てよらず相談の実施」目的:核家族の増加や育児に関する情報の増大など育児環境が多様化している現在、子どもの発達や育児に関しての心配や困りごとの相談に乗ることにより、親が生き生きと楽しく子育てができるよう支援する</p> <p>また、本事業を通して全国保健婦長会静岡支部として公衆衛生の向上に寄与する</p> <p>(1)実施日 平成13年11月24日(土)10:00～15:00(2)会場 西部地域交流プラ「パレット」(浜松市鍛冶町)(3)参加者25組(75名)(4)共催:静岡県保健所長会 後援:浜松市(5)実施内容 身体測定 医師及び保健師による発達・疾病・育児等の相談及び情報提供(6)実績 子どもの年齢0歳～小学4年まで 主な相談:言葉(3)発達(17)チック症状、便秘、兄弟関係、夜の授乳、離乳食(各1)計測(23)(人数) 外国人参加3組 感想:とても親切でよかった。ちょっと心配なことでも話せるので安心。こらからも頑張っ て子育てです。とても助かった。一人で不安だったが不安が吹き飛んだ。自由に寄っ て、計測や育児の相談ができるのはありがたい。こういうセンターがあれば気楽に相談できる。こういう相談が定期的にあるといい。</p>	<p>子育てよらず相談の推進</p> <p>「児童虐待評価チェックリスト(乳幼児版)」を活用、臨床と地域の連携強化の促進</p> <p>「育児サークル」「子育てネットワーク」づくりの推進と、虐待予防を含む子どもの心の安らかな発達の促進と育児支援を実施</p> <p>日常の保健福祉事業(乳幼児健診・家庭訪問等)における支援の徹底</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
19.NPO難病の こども支援全国 ネットワーク	<p>・ネットワーク電話相談室の運営(月～金曜日 11:00～15:00)する、必要に応じて、家庭を訪問して 関係機関とのコーディネート等必要な支援を行う ・プレイリーダー(遊びのボランティア)養成講座の 開設、プレイリーダーを病院・施設に派遣する。病 弱教育担当者対象に、病弱教育セミナーを開講す る ・サマーキャンプ"がんばれ共和国"を全国4ヶ所で 建国する。参加者は家族・ボランティアを含め600 名を予定している ・親の会連絡会の主宰の他、研修会の開催、日本 小児科学会会場での展示・PRコーナーの開設、新 しい会の設立への支援を行う ・シンポジウムの開催、機関誌「がんばれ！」を 発行する、小児難病親の会ハンドブック2002を発行 する、子どもを亡くして親御さんの支援、難病の子 どもを知る本の編集、その他</p>	<p>1.電話相談室の運営(月曜日 金曜日 11:00 - 15:0 0) 病気や障害のある子の家族から電話による相談を受け た。また、親の会の情報提供を行うとともに、同病の家族 の出会いを求める家族には登録を勧めて多数の家族の 紹介をしてきた 2.プレイリーダー養成講座の開設 プレイリーダー(遊びのボランティア)を養成し、病院等 での活動を援助した。講座は13年度は4回開設し28名が 修了した 3.病弱教育セミナー2003の開催 主に病弱養護学校の教員を対象に、病気や障害のある子 の理解のためのセミナー。受講者は50名 4.サマーキャンプ"がんばれ共和国" 病気や障害のある子と家族を対象としたサマーキャンプを 全国4ヶ所で開催した あしがらキャンプ:7/27 7/29 神奈川県大井町 七夕キャンプ:8/10 - 8/12 宮城県蔵王町 おいでんほうらい:8/17 - 8/19 愛知県鳳来町 がんばれ共和国in九州:8/24 - 8/26 大分県湯布院 町 5.親の会活動支援 病気や障害のある子を親たちの会41団体が参加して「親 の会連絡会」をもち、情報交換、研修会活動等を行って いる。13年度は定例会が4回、臨時の会合が4回、他に合 宿研修旅行、日本小児科学会等での展示PRコーナーの 開設、小児難病親の会ハンドブック2002の製作と全国配 布を行った 6.こどもの難病シンポジウムの開催 6月9日「子ども達が生き生きとする小児病棟を考える」シ ンポジウムを開催した。厚生労働省藤崎母子保健課長か ら「健やか親子21計画」について、参加者へその概要の 説明もしていただいた。参加者は300名だった。山城雄一 郎順天堂大学教授の基調講演の他、チャイルドライフスペ シャリスト、宮城こども病院、成育医療センターについてシ ンポジストが講演した</p>	<p>1.電話相談室の運営(月曜日 金曜日 11:00 - 15:00) 平成14年度は第二種社会福祉事業登録を行う 2.サマーキャンプ"がんばれ共和国"の開催 全国4ヶ所で、患児・家族・ボランティア等約700名 が参加する あしがらキャンプ:8/2 8/4 神奈川県大井町 七夕キャンプ:8/9 - 8/11 宮城県蔵王町 おいでんほうらい:8/16 - 8/18 愛知県鳳来 町 がんばれ共和国in九州:8/16 - 8/18 大分県 湯布院町 3.親の会活動支援 病気や障害のある子を親たちの会41団体が参加 して「親の会連絡会」をもち、情報交換、研修会活 動等を行っている。14年度は定例会を4回予定す るほか、合宿研修旅行、日本小児科学会等での展 示PRコーナーの開設等を予定している 4.プレイリーダー養成講座の開設プレイリーダー (遊びのボランティア)を養成し、病院等での活動を 援助する。講座は14年度は4回開設を予定してい る 5.病弱教育セミナー2003の開催 主に病弱養護学校の教員を対象に、病気や障害 のある子の理解のためのセミナー。受講者は50 名 6.こどもの難病シンポジウムの開催 「君に伝える 病気のこと ともに歩むためのイン フォームドコンセント」を6月1日順天堂大学有山 講堂で開催する</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
20.(社)日本医師会	<p>・平成13年度乳幼児保健講習会の開催</p> <p>・出生前小児保健指導事業(プレネイタル・ピジット)のモデル事業実施</p> <p>・児童虐待に関する調査及び「医師のための児童虐待の早期発見と防止マニュアル(仮称)」の作成</p> <p>・乳幼児保健検討委員会開催「会長諮問・乳幼児の健全な心の発達に果たす医師及び医師会の役割 - 育児支援を含めて - 」</p>	<p>出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)モデル事業の実施</p> <p>医療機関から通告された児童虐待例についての調査の実施</p>	<p>出生前小児保健指導(プレネイタル・ピジット)モデル事業報告書作成</p> <p>「児童虐待の早期発見と防止マニュアル - 医師のために - 」発行</p>
21.(社)日本栄養士会	<p>・会員に対して食教育に関する実態調査を行い食教育の方法や効果を実証するとともに、食教育に関するリーフレットを作成、配布する</p> <p>・食事や栄養に関する育児相談週間を設け、全国数カ所の保健所、市町村保健センター、児童福祉施設等に相談窓口を開設する</p> <p>・休日に親子料理教室を開催し、食事や栄養への関心を高め、親子の関わりを深める</p> <p>・会員に対して面接技術を修得できる研修を開催する</p>	<p>1.正しい食習慣と健全な親子関係の形成を目的に、「子どもの食事・親子連続講座」をモデル事業として秋田・茨城の2県で実施(合計6回、70組、144人参加)し、参加した親子にとっても好評であった</p> <p>講座内容 「なぜ食べるの?(3色栄養)」「朝食はなぜ大切な?(生活リズム)」「野菜をおいしく食べよう」の3回連続講座を行い、受講前・終了時に子どもの食事に関するアンケートを実施し、食事相談コーナーを設置した</p> <p>実施結果 「家では好き嫌いが多く、みんなと一緒に食べている姿に驚いた。」との感想が多く聞かれ、クッキング講座の効果が大きかった。また、人見知りがあることで、心配していた親から、友達ができて良かったと言われ、回を重ねるごとに、親同士も打ち解け、楽しそうに情報交換をしていた。このことから、保護者の食に対する考えや、家庭の様子、悩みなどを知ることができた。なお、保育所を会場として使用したことは、保育所職員の協力や食に対する理解が深められ、さらに地域の方に保育所を知る機会ともなった</p> <p>2.児童福祉担当栄養士研修会において(2会場、392名参加)「食教育リーフレット」の作成経緯を報告し、食教育の実践の場で、大いに活用するよう呼びかけた</p> <p>3.平成13年10月29日(月)大阪府・大阪国際会議場で開催された第48回日本栄養改善学会において「食教育」をテーマとした自由集会を持ち、各分野に勤務する栄養士等(約100名)と意見を交わし、食教育の意義確認と発展的取り組みへの足掛かりとした</p>	<p>1.13年度の実績をふまえ、「子どもの食事・親子連続講座」をさらに拡大して行く</p> <p>2.食教育の実践の場で食教育リーフレットとアンケートを活用し、その結果から家庭の食事の様子・親子関係を把握して、次の指導に反映させる</p> <p>3.栄養士、調理員、保育士等を対象にスキムミルクを使った「子どものためのクッキング講座」を行ない、摂取不足の栄養素(カルシウム等)の重要性を意識づける</p> <p>4.面接技術をテーマとした「ブロック専門研修会」を開催し、ヒューマンスキルを修得して、育児相談などの場で活かす</p> <p>5.児童福祉施設に勤務する栄養士の仕事内容・活動状況をアピールし、気軽に相談できる窓口を開設する</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる ・児童虐待防止の推進に寄与する健康教育教材の開発並びに頒布 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる(年間12回) 2) 東京都から委託を受けて実施している不妊専門相談センターの充実・不妊の当事者への支援を目的とした不妊ホットラインの継続実施:毎週火曜日に実施。相談件数1,044件 3) 「避妊と性感染症予防のためのスキルアップセミナー」全国7カ所で開催(別項) 4) 緊急避妊法の推進と緊急ネットワークの拡充(別項) 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機関誌『家族と健康』を通して、「健やか親子21」関連記事を積極的に取り上げる 2) 「乳幼児の事故予防セミナー」の開催 3) 「子どもに対する虐待防止セミナー」の開催 4) 子どもの事故防止や児童虐待防止などの推進に寄与する健康教育教材の開発並びに頒布
23.(財)日本 学校保健会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健センター事業として、12の委員会と9の小委員会を設置して調査研究に取り組み、児童生徒の健康保持のための活動をバックアップする ・一般事業として、これからの保健活動の推進のためには学校・家庭・地域社会の連携協力が必要であり、そのための組織づくり策について検討する委員会を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健に関する検討委員会の設置子どもたちの健康問題の協議等を行うため、学校保健委員会及び地域学校保健委員会の設置の促進と活性化の方策について協議した ・「健康教育推進学校表彰事業」の創設 学校・家庭・地域社会が協力して健康教育を推進し、成果を挙げている学校を表彰する事業について、実施要項を作成した ・保健室利用状況に関する調査の実施 子どもたちの心の健康問題等に対応するため、全国調査の分析検討をした ・児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書の作成・配布 前年度実施された調査結果の集計分析を行い、OD症状、生活習慣病のリスクファクター、アレルギー様症状などについて報告書を作成した ・その他、各委員会の調査研究に基づく成果を、報告書等にまとめ学校保健関係者に提供した 	<ul style="list-style-type: none"> ・13年度に取り組んだ事業を、引き続き実施する ・「健康教育推進学校表彰事業」は、平成14年度より、児童生徒健康状態サーベイランス事業は調査をそれぞれ実施する。また、保健室利用状況に関する調査については、報告書を作成する ・児童生徒の保健管理に必要な健康情報等の活用について、新たに委員会を設置して検討する
24.(社)日本 看護協会	<ul style="list-style-type: none"> ・「禁煙対策検討委員会」「児童虐待防止対策委員会」の運営 ・各地方自治体、医療実施機関等の母子保健への取り組みの支援 ・まちの保健室、訪問看護ステーションにおける母子相談モデル事業の実施 ・看護の日における健やか21のキャンペーン活動 ・ナースセンターにおける保健医療福祉関係機関へのマンパワー支援 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待予防対策委員会における看護職の役割の検討と指針の作成 まちの保健室モデル事業による子育て相談、虐待ホットライン設置など ・「地区の集落センターを拠点とした多世代が集うまちの保健室」(山梨県看護協会) ・「協会会館を拠点としたあいあい相談室」・「巡回まちの保健室」(長崎県看護協会) ・「アウトドアまちの保健室活動による支えあう地域づくり」(石川県看護協会) 保健所保健活動モデル事業による虐待への取組 「子どもの虐待予防活動の展開 - 地域における虐待予防システムの構築 - 」(東京都 南多摩保健所) 虐待に関する講演会・研修会等(各県看護協会) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待予防対策に関する活動 ・児童虐待予防対策に関する基本的知識の普及啓発 ・児童虐待予防活動と連携に関する手引きの作成と配布 ・看護職者間の連携の促進とネットワーク作り ・児童虐待に取り組む医療施設の聞き取り調査(看護師職能委員会) まちの保健室モデル事業による子育て相談 「多世代が集うまちの保健室」(山梨県看護協会) 保健所保健活動モデル事業による虐待予防への取組 「子どもの虐待予防活動の展開 - 地域における虐待予防システムの構築 - 」(東京都 南多摩保健所) 虐待に関する講演会・研修会等(各県看護協会)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
25. 日本公衆衛生学会	・第60回総会(高松市)のシンポジウムの中に「健やか親子21」に関する演題を組み入れ、会員の理解を深める・本学会の「地域保健委員会」において「健やか親子21」に関する本学会の今後の取り組み案を検討する	第60回総会(平成13年10月31日～11月2日、香川)において、健やか親子21の推進を意識したシンポジウムや教育講演等を企画し、多くの参加を得た。当該課題に関する主な企画は下記のとおり ・シンポジウム「ヘルスプロモーションの現状と課題」の中で、「健やか親子21」の推進についても重要なテーマの一つと位置づけ、発表と討論が行われた ・第60回総会記念ブースを設置したところ、地域における「健やか親子21」の推進に関する研究班(厚生労働省子ども家庭総合科学研究)からの出展があった	・第61回総会(平成14年10月、埼玉)の中で、当該課題(特に、子どもの虐待予防)に関するシンポジウム等を企画する ・育児中の会員でも安心して学会行事へ参加し研鑽を積めるようにするために、総会の会場内に託児室を設置する
26. (社)日本産科婦人科学	・学術集会・機関誌の充実	記載なし	記載なし
29. 日本児童青年精神医学会	・学会内に乳幼児期のメンタルヘルス対策担当委員会を設け、具体的なアクションプランを作成する。公開研究会もしくは研修会などの場と機会を作る ・各地区(地方)学術集会や年1回開催される学術総会において"虐待"についてのシンポジウム、研修会等を行う	平成13年度は、メンタルヘルス関連五学会(日本思春期青年期精神医学会、日本児童青年精神医学会、日本小児心身医学会、日本小児精神神経学会、日本乳幼児医学・心理学会)と合同企画によるシンポジウムを開催し、乳幼児期のメンタルヘルスに関する取り組みの問題点と課題を討議し、乳幼児対策を前進させた 関連5学会は連携して、乳幼児期の子どもの精神保健の向上に向けて取り組むこと、3年ごとにこのようなシンポジウムを開催することで乳幼児期のメンタルヘルスの展開を図ることが確認された。(H13,9,14～15: 日本都市センターホテル、約250名参加) 乳幼児期のメンタルヘルス対策は、子どもの心の安らかな発達の促進と育児にさまざまな問題を抱えている母親たちのケアや治療を専門的に行う活動であり、本学会の重要な活動の一つである。そのため13年度の活動として、本学会の「教育に関する委員会」が乳幼児精神医学に関するセミナー「乳幼児の精神保健をめぐって」を開催して、学会員に対して研修の機会を提供し啓蒙活動を行った。その際の記録は、教育に関する委員会セミナーとして学会誌に報告される予定である。(H13,10,24～26: 金沢市、金沢市観光会館・金沢市中央公民館 約800名参加)	平成13年度の本学会総会において開催された教育に関する委員会セミナーで「乳幼児の精神保健をめぐって」というテーマを取り上げ好評であった。それで、14年度の学会総会における教育に関する委員会セミナーにおいても乳幼児期の問題を取り上げることにし、「乳幼児期の子育て支援における連携」というテーマで、セミナーの人選を進めている 一般演題においても乳幼児期を対象とした発表が増加して来ており、学会員の関心が増してきている。このように、乳幼児期における臨床及び研究活動を活発化することにより、虐待の予防等に対する学会員の意識を高める予定である
31. (社)日本小児科医会	・6,7月に大阪にて第3回「子供の心」研修会を開催し、研修終了者に「子供の心相談医」として登録し、学校・診療所・保健所で心のカウンセラーの実務に当たれるように取り計る ・市町村における健診レベルの格差の有無を調査し、その是正に努める ・ブレネイタルピジットモデル地区の活動に参加する	7・8月の計4日間の「子供の心」研修会を開催し、全日出席した198名を「子供の心相談医」として登録した 育児支援に対する小児科医の取り組みについてのアンケート調査を行い発表した 公開フォーラムで「現場から学ぶ子育ての基本」を6月に横浜で開催した	5・7月に計4日間の「こどもの心」研修会を開催する ホームページ上に「海外こども健康相談」をつくり、相談に応ずる 育児支援の公開フォーラムを6月に広島で開催する

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
32. (社)日本小児科学会	<p>・日本小児科医会が実施している「子供の心」研修会等への小児科医の積極的な参加を推進する</p> <p>・日本小児科学会としての意見をまとめ、乳幼児健診の見直し作業に積極的に参画する</p> <p>・プレネイタルビジットの推進を含め、かかりつけ小児科医が実施する子育て支援に対して、医療経済面も含めた制度を確立する</p> <p>・日本小児科学会雑誌に出生前小児保健指導(プレネイタルビジット)の意義とあり方についての記事を掲載し、小児科医師に対する啓発を行う</p> <p>・地域の産婦人科医会・小児科医会などの協力を得て、講習会・研修会を開催し本事業の質的向上を図る</p>	<p>1) 第104回日本小児科学会学術集会(平成13年5月18日、仙台市)に藤崎清道母子保健課長を招き、教育講演として「健やか親子21」の目指すもの-計画策定過程を中心に-を講演していただいた。講演および学会誌、105(3)掲載の抄録により会員に「健やか親子21」の趣旨を知らせた</p> <p>2) 平成13年6月、日本医師会と厚生労働省共催の出産前小児保健指導(プレネイタルビジット)事業説明会に小児科側代表として中村肇新生児委員長が出席して、プレネイタルビジットの意義や実施方法について説明した。出席者は日本医師会の各地区から派遣された産婦人科医、小児科医、行政担当者であった</p> <p>3) 平成13年度厚生科学研究(子ども家庭総合研究事業)「育児不安軽減のための小児科医の役割とプレネイタルビジットの評価に関する研究(主任担当者:多田裕)」に中村肇、仁志田博司、小川雅之亮が評価委員として参加し検討に加わった</p> <p>プレネイタルビジットの解説書を研究班が作成準備中であるが、この作成には分担研究班員および評価委員を通じて学会としても協力する予定である</p>	<p>1) 平成14年4月19日～21日、名古屋国際会議場で開催される第105回日本小児科学会学術集会に「健やか親子21」と関連のある企画を取り上げた</p> <p>「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」の関連では、「小児科医として虐待にどう取り組むか」、「新生児医療の医療効率」の二つのシンポジウムで、虐待予防への小児科医の役割や新生児医療の保健的側面などについて討論することを予定している</p> <p>2) 出産前小児保健指導(プレネイタルビジット)の内容や受診の仕方についての解説書を「育児不安軽減のための小児科医の役割とプレネイタルビジットの評価に関する研究」班と協力して作成し、普及に努める</p> <p>3) 日本小児科連絡協議会(三者協)において小児保健協会、小児科医会と協議し、産婦人科医会、産婦人科医会、日本医師会などとの協力のもとに、出産前小児保健指導(プレネイタルビジット)や小児科のかかりつけ医確保のための対策を考え、講習会、研修会などの機会を利用して普及と質的向上に努める</p>
33. 日本小児看護学会	<p>第11回学術集会を7/27・28の2日にわたり開催する予定「子ども、家族の主体化と専門職との協同 - 新世紀の小児看護へのアプローチ - 」と題し、演題発表の他に、子ども、家族を支える新たなリソースとしての虹の家(震災遺児のため癒しの家)、ファミリーハウス(慢性疾患をもつ家族のための宿泊施設)などの交流集会を計画している</p> <p>・定期的刊行物(ニュースレター及び学会誌)の年2回の発行</p> <p>・地方での活動を活性化するための集会</p>	<p>学術集会</p> <p>7月12・13日、神戸国際会議場において開催。約800名参加。「子ども・家族の主体化と専門職との協働 - 新世紀の小児看護へのアプローチ - 」というメインテーマで開催された学術集会において、講演やシンポジウム、交流集会などが行われ、課題別検討会では、「子どもの生きる力」や「被虐待児」「自助組織支援」などをとりあげ看護専門職の意識の向上を行った</p> <p>東北地区研修会</p> <p>日本小児看護学会では、今年度は、東北地区研修会において「子どもと家族の声が聞こえていますか」をテーマに講演等を行い、患者家族や他の職種で構成されたシンポジウムにおいても、多くの看護職の参加を得て小児看護の専門職の意識の向上を図った</p> <p>地方会</p> <p>中国地方において、子育てのサポート(1年間に29回の育児相談)を行っている組織「キッズネット」を支援している</p>	<p>学術集会</p> <p>「子どもと家族の主体性を支える看護 - 今、直面している困難感からの脱却 - 」をメインテーマに、子ども達の主体性を支えるあり方に関する講演やシンポジウムを予定している。課題別検討会においても、セルフケアと成長発達に合わせたインフォームド・コンセントなど、子ども達の自立と、その家族へのサポートについて検討する</p> <p>地方会</p> <p>「キッズネット」が子育て支援として「子育て私流(仮称)」を中国地方で開催し、親と看護職がともに子ども達と遊ぶなど、親同士の交流や育児支援を行う企画をサポートする。ホームページの活用</p> <p>ホームページを活用して、学会の活動を発信していくと同時に、看護専門職に向け、また一般市民に向けて、情報の伝達・共有ができるよう整備する。内容は、専門職間の保健・医療の話題だけではなく、将来的には、市民との対話も考えていく</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
34. 日本小児救急医学会	<ul style="list-style-type: none"> ・6月学会での教育講演の開催などでの会員相互のレベルアップ ・救急医療体制の検討の成果の厚生省や地方行政への報告と問題点などをマスメディアを通して国民的問題としての啓蒙を行う ・学会誌の発行を行い、会員および他科医への教育啓蒙を行う ・家庭用応急処置マニュアルなどを作成発行し、保護者の育児不安の解消を図っていく 	<p>学会前日(6/20)に「子ども達の事故と急病、およびその応急法」の市民公開講座を開催した。</p> <p>学会においても、ナース部門の充実を図り、子どものトータルケアの観点からナースの役割の重要性の再認識とその啓蒙を図った。</p> <p>小児救急医療の充実がいかに育児不安と直結しているかを再認識し、その観点からも、一般演題、WSにおいて、「診る医療」から「診せてもらう医療」への小児科医の発想転換の啓蒙を行い、安心して、且つ充分に相談できる小児救急医療体制のソフト作りへの足がかりを行った。</p>	<p>日本臨床救急医学会など成人中心の救急医学会において、小児救急医療での高次救急医療の役割、あるいは児童虐待と小児救急医療などのWSの開催が決定し、他科救急医にも子どもの養育環境と疾病や育児不安の存在への理解の啓蒙を行う予定。</p> <p>小児救急医療受診者の主訴の検討による、急病指導マニュアルの作成を図り、他科医における小児救急医療の実践においても、育児不安の解消が行いやすくとともに、小児救急医療体制の拡充の一貫としての対応をしていく予定。</p>
35. (社)日本小児保健協会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国キャンペーンをさらに推進すること、全国47都道府県支部に小児保健協会として「健やか親子21」に対する取り組み、具体的行動を連絡し、このための体制を整備する 	<p>次ぎの事業を行った</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児健康度調査の結果をまとめた 2. 小児保健セミナーの開催 6月24日(日)野口記念会館「予防接種の現状と今後」 参加人数:300名 3. 日本小児保健学会プレコンgres学習セッション * 21世紀は子どもの心の健康を育むためにどうするか(河合隼雄) * ケントからみた日本の子育て(ケント・デリカット) * シンポジウム:乳幼児の心の健康について:誰が、どこで、どのように指導するか 東京ビッグサイト、国際会議場参加:800名、11月16日 4. 第48回日本小児保健学会東京ビッグサイト国際会議場 11月17-18日 参加:1800名シンポジウム * 21世紀の乳幼児健診はどのようにあるべきか * 小児の虐待は予防できるか 4. 小児保健シリーズの刊行幼児健康度調査報告書 5. 全国支部小児保健学会における講演並びにこのための支部活動 6. 代表幹事団体として「健やか親子21第4課題推進委員会」を2回開催した 8月14日、11月1日全国保健センター、参加:幹事団体、活動計画の検討をおこなった 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児保健セミナーの開催「小児のアレルギー」 6月16日(日)、野口記念会館 2. 第49回日本小児保健学会の開催、10月10日-12日、神戸、ポートピア国際会議場並びにプレコンgres学習セッションの開催 3. 小児保健シリーズの刊行 4. 小児保健研究 年6冊刊行 5. 全国47都道府県支部における小児保健学会の開催と支部活動 6. 代表幹事団体として健やか親子21、第4課題推進協議会の開催、幹事団体並びに協力団体と協力して、地域における周産期から思春期にいたる、育児不安の軽減、子どもの心の安らかな発達の促進、虐待防止を目的として地域全体に子育て支援システムを構築する 平成14年度は8-10箇所のモデル地区の設定を予定している 各地区における子育て支援システムの情報の普及のためのシステムも作成する予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
35. (社)日本小児保健協会		7.健やか親子21:公開シンポジウム:未来の明るい家族のために、今、何ができるか」への参加:子どもの心の安らかな発達の促進:未来の明るい家族のために、今、何ができるか」への参加並びに14年度打合会の開催(参加:50名) :子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減14年3月12日JAホール、参加:250名	
37. (社)日本助産師会	・現在36ヵ所ある「子育て・女性健康支援センター」を全県設置に向けて、さらに数ヵ所増設する ・可能な所から既存の子育て支援センターにおける開催日の拡大等の充実を図る ・相談員育成のための種々の研修会の開催	・研修会 H13.9/23 24 福井県 他5ヶ所で開催 計359名の助産婦が参加 ・フォーラム H13.11/18 福島県 他5ヶ所で開催 計384名の一般、養護教諭等が参加。概要:保育園・幼稚園児および親への働きかけが必要、学校での性教育の充実などの意見がでた ・その他 支部「子育て・女性健康支援センター」活動43ヵ所で実施 関連団体と共に「子育て支援」イベント参加(2回)	・「子育て・女性健康支援センター」活動46ヵ所で実施し、子育て相談を継続する予定 ・相談員育成のための研修会を6地区で開催する予定 ・関連団体と共に「子育て支援」イベント参加予定
39. 日本赤十字社	・各施設が育児相談、デイケア、ショートステイ等の子育て支援事業に取り組むとともに、地域に対して施設機能の開放を図るための取り組みを行う	当社が運営する児童福祉施設において、以下の子育て支援事業を実施した。 (乳児院) デイケア 2施設 ショートステイ5施設 育児相談5施設 育児体験教室4施設 乳幼児健康支援一時預かり事業 5施設(保育所) 延長保育2施設 一時的保育事業1施設	13年度に引き続き、各児童福祉施設において子育て支援事業の充実に努めるとともに、施設を会場として赤十字幼児安全法講習会を開催するなど、赤十字の他事業とも連携を図りながら展開する
40. 日本タッチケア研究会	・第4回タッチケア指導者講習会(浜松2/12) ・第5回タッチケア指導者講習会(神戸6/30) ・第42回日本母性衛生学会ランチョンセミナー「タッチケア - 母と子のふれあい - 」(9/28) ・第48回日本小児保健学会ランチョンセミナー(11/17) ・国際聖路加病院、飯野病院、愛育会、葛飾日赤病院などでタッチケア研修会(2~4回/月)・タッチケア研究助成(3件)	・第4回タッチケア指導者講習会(浜松 2/12) ・第5回タッチケア指導者講習会(神戸 6/30) ・第6回タッチケア指導者講習会(札幌10/27) ・第42回日本母性衛生学会ランチョンセミナー「タッチケア - 母と子のふれあい」(9/28) ・第48回日本小児保健学会ランチョンセミナー「タッチケア Update」(11/17) ・聖路加国際病院、飯野病院、愛育会、葛飾日赤産院などでタッチケア研修会(2~4回/月) ・ニューズレター Touch Care Update 1回発行(12/未) ・タッチケア研究助成(3件)	・第7回タッチケア指導者講習会(札幌 4/27) ・第8回タッチケア指導者講習会(仙台 9/14) ・第26回日本小児皮膚科学会シンポジウム「スキンケアと育児」(5/26) ・第16回日本助成学会展示会(3/14~15) ・聖路加国際病院、飯野病院、愛育会、葛飾日赤病院などでタッチケア研修会(2~4回/月) ・ニューズレター Touch Care Update 4回発行(3・6・9・12月) ・タッチケア研究助成(12件)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
41. 日本保育園保健協議会	<p>・全国数カ所で集団保育保健研修を行い、研修助成金を交付する(現行)</p> <p>・日本保育園保健協議会(於盛岡市)研究成果を発表する(現行)</p> <p>・子育て環境の変化に対応して、産休明け保育、早朝保育、延長保育、夜間保育、感染症対策、健康支援一時デイケア、預かり薬の問題等を保健面から検討する(現行)</p> <p>・研究助成金の交付並びに表彰を行う(現行)</p>	<p>1. 学会の開催 第7回日本保育園保健学会 平成13年10月13,14日盛岡市開催 小川 英治 会頭</p> <p>2. 広報啓発事業 1)会誌の発行「保育と保健」第7,8巻(2巻発行) 2)「保育園保健ニュース」No.17,18,19(3号発行) 3)ホームページの開設(平成13年4月より)</p> <p>3. 助成事業</p> <p>1)地域活動助成事業(助成金の支給) 中京地区保育園保健研修会 H13.6.17 奈良県公立幼稚園教育研究会 平成13年度教育講演会 H13.8.27</p> <p>2)研究助成事業 保育保健研究助成金の支給 帆足暁子他「保育所型病児保育施設の実態と課題」保育保健賞の選定 全国保育園保健看護婦連絡調査研究グループ 「障害および疾病を持った園児の実態と保育職のかかわり」 田中哲郎、石井博子(国立公衆衛生院母子保健学部) 「最近の保護者の保育に関する考え方」 幼児の食と食生活に関する研究助成金</p> <p>4. 事業への参加 1)日本学術会議事業 2)厚生労働省「すこやか親子21」推進協議会</p> <p>5. 関連の各種研修会・研究会の共催並びに後援</p>	<p>1. 会の開催 第8回日本保育園保健学会 平成14年10月26,27日 名古屋市開催 谷口 アキ 会頭 愛知県勤労会館</p> <p>2. 広報啓発事業 1)会誌の発行「保育と保健」第8巻2号 あと1巻予定 2巻発行 2)「保育園保健ニュース」No.20,21もう1号(3号発行) 3)ホームページの充実</p> <p>3. 助成事業</p> <p>1)地域活動助成事業(助成金の支給) 半田市保育園保健会講演会 H14.6.6 全国保育園保健師看護師連絡会「ADHDの理解」 H14.11.30 小田原医師会保育園医部会研修「多動な児とのつきあいかた」H15.1.20</p> <p>2)研究助成事業 保育保健研究助成金 堀内久美子他(名古屋市立大学看護学部) 「保育園児の虐待事例の分析からみた育児支援のあり方に関する研究」 保育保健賞 東部どんぐり保育園他 「手掴み食を中心とした幼児の食生活について」 幼児の食と食生活に関する研究助成金 「生活習慣病予防をふまえた幼児の食生活の実態と課題に関する研究」 山田チヨ他(新潟県栄養士会長岡支部)</p> <p>4. 事業への参加 1)日本学術会議事業2)厚生労働省「すこやか親子21」推進協議会</p> <p>5. 関連の各種研修会・研究会の共催並びに後援</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
42. (社)日本保育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本保育協会の各種研修会において「保健」に関するテーマを取り上げる際に「健やか親子21」の主要課題を中心としたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児電話相談「ママさん110番」の運営 相談日 月～金 延相談人数 4,305人 ・機関誌「保育界」、ホームページによる広報活動への協力 ・保育所保育士等に対する保健・子育て相談関連研修事業 地域子育て支援センター担当者研修会(国庫補助事業) 13年11月27～30日, 12月4～7日, 11～14日 3回開催 東京都 こどもの城 557名参加 保育所保育・保健研修セミナーの開催(日本財団助成事業) 13年9月29・30日 東京都 こどもの城 265名参加 14年3月9・10日 大阪府 大阪国際交流センター 258名参加 保育所子育て相談推進セミナーの開催(日本財団助成事業) 13年11月1・2日 東京都 こどもの城 219名参加 14年1月12・13日 大阪府 大阪国際交流センター 380名参加 ・「保育所の地域子育て支援活動に関する調査研究」(国庫補助事業) 保育所における地域子育て支援活動に対する取組事例の調査報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児電話相談「ママさん110番」の運営 ・機関誌「保育界」、ホームページによる広報活動への協力 ・保育所保育士等に対する保健・子育て相談関連研修事業 地域子育て支援センター担当者研修会(国庫補助事業) 2回 保育所保育・保健研修セミナーの開催(日本財団助成事業) 2回 保育所子育て相談推進セミナーの開催(日本財団助成事業) 2回 ・「地域に開かれた保育所活動に関する調査研究事業」の実施
43. (財)日本母子衛生助成会	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健功労顕彰事業の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 第23回母子保健奨励賞を開催 全国より15名の母子保健関係者を表彰 	<ul style="list-style-type: none"> 第24回母子保健奨励賞を開催 これからの母子保健を考えるシンポジウムを共催 新しい母子健康手帳の利用とテーマのもとに育児不安の軽減と児童虐待予防について講演内容に
46. 日本母乳の会	<ul style="list-style-type: none"> ・世界母乳週間中(8月第1週)に母乳育児シンポジウムを開催 ・全国産科施設の母子同室、母乳育児の実態調査 ・2001年「赤ちゃんにやさしい病院」認定 ・出生直後の課題(体重減少など)の研究・調査 ・母親向けの「母乳育児なんでもQ&A」の刊行 ・シンポジウム記録集の刊行 	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回母乳育児シンポジウム開催。8月4日(土)、6日(日)、横浜市プリンスホテル。1300名参加。母子同室、母乳育児の施設を増やして欲しい。正しい母乳情報を。退院後の支援体制を整えて欲しい 各地での勉強会を開催。 ・全国産科施設(4800)母乳育児施設アンケート調査 厚生科学研究の一環 出産直後からの母子同室が少しずつ増えている、初乳の前に何も与えない、又、母親の要望を聞く、という項目において、増加傾向が見られる。 ・BFH(赤ちゃんにやさしい病院)を認定推薦する ・各地の母親、医療者の会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回母乳育児シンポジウム8月3日(土)、4日(日)、仙台市国際センター約1100名参加 ・ワークショップ開催・02年5月17日(土)、18日(日)大分市杉の井ホテル 03年1月11日(金)、12日(日)富山市国際会議場 ・全国産科施設母乳育児施設アンケート集計、発表 ・BFH(赤ちゃんにやさしい病院)を認定推薦する。 ・シンポジウム記録集、ワークショップ記録集を発行 ・離乳食、卒乳に関する小冊子を発行 ・各地の母親や医療者の会の支援 ・全国病院小児科(約1400)母乳育児施設アンケート調査 厚生科学研究の一環

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
48. (社団)日本理学療法士協会		<p>第4課題グループ第3回会議出席 平成14年3月12日 JAビル 51団体出席 概要:活動推進に関する検討 第4課題に対して、理学療法士協会はどのような活動ができるか検討</p>	<p>理学療法士協会、作業療法士協会、言語聴覚士協会での活動が進められている、養護学校への専門職員の配置が、第4課題の目標にどのようにかかわってくるか、検討してゆく。例えば、養護学校への理学療法士の配置が拡大することによって、障害児を持つ母親の育児の自信や心のゆとり、育児にかかわる父親の割合の増加などにつながるのではないかと考えている</p>
49. (財)母子衛生研究会	<p>・母子健康手帳副読本「赤ちゃん」(140万部)、幼児健康診査時教材「すこやか幼児のこころとからだ」(120万部)等の作成 ・24時間電話情報「ワクワク子育てベビーダイヤル」の提供、インターネット ・ホームページ「子育てインフォ」の充実、海外在留邦人への母子保健情報の提供、虐待防止リーフレットの作成配布</p>	<p>・母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布(継続事業) 市町村の母子健康手帳交付窓口より妊娠届出者に配布(140万部) ・「すこやか幼児のこころとからだ」配布(継続事業) 1歳6か月児・3歳児健康診査時配布教材として、市町村に配布(120万部) ・24時間電話情報「ワクワク子育てベビーダイヤル」(継続事業) ・インターネット「子育てインフォ」による海外母子保健情報提供(継続事業) ・「新米ママの育児講座」開催(継続事業) 初産婦対象に育児のポイント、行政サービスの利用法などについて、5地区にて計22回 開催</p>	<p>・母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布(継続事業) ・「すこやか幼児のこころとからだ」配布(継続事業) ・24時間電話情報「ワクワク子育てベビーダイヤル」(継続事業) ・インターネット「子育てインフォ」による海外母子保健情報提供(継続事業) ・「新米ママの育児講座」開催(継続事業)</p>
50. (社)母子保健推進会議	<p>・全国母子保健推進員全国大会の開催 ・母子保健強調週間(10月)の推進 ・妊婦等禁煙運動の推進 ・母子保健推進員研修会の実施 ・母と子の虫歯予防研修会の開催 ・機関誌「母推さん」の配布</p>	<p>第1回母子保健推進員全国大会の開催 H13年9/21(金) 山口市民会館 1100名 ・母子保健推進員は地域母子保健活動の第一線で活動しており大事な仕事である ・「健やか親子21」の国民運動を積極的に推進していく ・推進員の活動がさらに活性化されるためにも全国組織の充実が必要である 母子保健強調週間(10月)の推進 ・「妊産婦・乳幼児の健康診査受診勧奨ポスター」の制作と配布 ・喫煙による障害発生防止運動 ブロック別母子保健事業研修会の実施 母子保健推進員研修会の実施 機関誌「母推さん」の配布 関係教育・啓発用教材の企画・制作 子どもの虐待防止活動 乳幼児事故防止セミナーの開催 手作り健康教育媒体コンテストの開催 母と子のむし歯予防研修会の実施</p>	<p>第2回母子保健推進員全国大会の開催 母子保健強調週間(10月)の推進 ブロック別母子保健事業研修会の実施 母子保健推進員研修会の実施 関係教育・啓発用教材の企画・制作 子どもの虐待防止活動 乳幼児事故防止予防セミナーの開催 手作り健康教育媒体コンテストの開催 母と子のむし歯予防研修会の実施</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
51. (社) 母子用品指導協会	<p>・ママと赤ちゃんのための用品「なにが必要？ どう選ぶ」(100万部)を作成配布</p> <p>・インターネットホームページ「子育てインフォ」に母子用品e-mono情報を提供</p>	<p>1. ママと赤ちゃんのための用品「なにが必要？ どう選ぶ」妊娠・子育てに必要な母子用品情報を各市町村の保健センター等から120万部を配布。</p> <p>2. グループホームページ「子育てインフォ」内に母子用品情報ページ「e-もの」を開設。(インターネット上に様々な情報が溢れる中、信頼性の高い母子用品情報を提供した)</p>	<p>1. ママと赤ちゃんのための用品「なにが必要？ どう選ぶ」(一部改訂版)を作成し各市町村の保健センター等から120万部を配布。</p> <p>2. グループホームページ「子育てインフォ」内に母子用品情報ページ「e-もの」を継続して掲載。</p> <p>3. 同「子育てインフォ」内に、「子育てインターネット相談室」を開設し、ネット上で相談の受け付けや情報の配信を行う。</p>
52. 日本小児歯科学会		<p>1) 平成13年度市民一般公開講座 平成14年2月7日(木)開催 福岡県歯科医師会館にて 会員を含め158名参加 テーマ: 21世紀は健康科学の時代</p> <p>2) 広報委員会にて 会員啓蒙用の「児童虐待における歯科医師の役割」リーフレットを検討、試作した。</p>	<p>13年度と同様であるが、追加事項として</p> <p>1) 第40回日本小児歯科学会総会及び大会において特別講演として 「児童虐待の現状と対応」を企画する。講師は杏林大学医学部法医学教室佐藤喜宣先生、国立成育医療センターこころの診療部部長奥山真紀子先生の予定。</p> <p>2) 「健やか親子21推進協議会」の参加第3,4課題グループの各事業に積極的に参加、協力する。</p> <p>3) 学術集会(シンポジウム)の開催 テーマ: 少子社会に対する取り組みの現状と展望 演者: 谷口 隆(厚生労働省児童家庭局母子保健課長)</p> <p>前川 喜平(日本小児保健協会会長) 関口 基(日本小児歯科学会学術委員、地域保健委員)</p> <p>平成15年2月11日(火) 東京医科歯科大学にて</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
54. 日本新生児学会	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月健診の状況の把握、両親学級の状況の把握 ・妊娠、出産、育児の重要性を社会にアピールするための企画と実施 ・周産期医療のサブスペシャリティの構築とサービス人材の質・量確保 ・母子同室、カンガルーケア等の新生児管理の特質を検討し会員に周知させる ・本年の学会総会で「心とテクノロジー」をシンポジウム、教育講演で取り上げ、学会誌に全文を掲載する 	<p>以下の行動目標に従って、学会内委員会において実現のための検討をおこなった。</p> <p>1)少子化及び核家族化による育児不安を解消するため搬送システム、回復期支援システム、育児指導システムを充実させる。 2)育児不安の軽減のための施策の立案もしくは、ガイドラインの作成</p>	<p>第38回日本新生児学会学術集会シンポジウム 平成14年7月14-6日開催予定、神戸国際会議場シンポジウム1 これからの母子支援、1)より安全なお産を目指して、2) prenatal visit、3)母乳育児の推進</p> <p>教育講演 1.遺伝子治療の最近の進歩、2.周産期医療とIT、3.胎児情報とその評価、4.先天性心疾患外科治療の現状 - 特に緊急手術を要する新生児例について、5. Feding of preterm infants</p> <p>招待講演 1. Quality control of neonatal medicine、2. Steroid use and neonatal outcome</p> <p>(1)妊娠、出産、育児の重要性を社会へアピールするための企画を検討し、実施する</p> <p>(2)プレネイタルヴィジットの運営に協力する</p> <p>(3)1か月健診の状況の把握、両親学級の状況の把握をおこなう</p> <p>(4)1か月健診、両親学級のありかたのガイドライン作成に協力する</p>
57. (財)日本食生活協会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から妊娠期の食生活のあり方について提示(3歳児のう歯予防他) ・親子で朝食づくりを体験し、朝食の大切さを理解するとともに朝食の欠食率の改善に努める 	<p><子どものからだと心の健康づくり></p> <p>概要:全国の食生活改善推進員による小学生高学年の児童と親を対象とした「おやこ料理教室」を開催し、参加者は自分で作る朝ごはん他の調理実習を楽しみながら体験し、よい食習慣を身につけることを目的とした</p>	<p>14年度は、よい食習慣づくりをテーマにする</p>
58. 全国病児保育協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・会発足10周年記念行事 ・病児保育実態調査と機能評価の基準作成(パイロット的に実施) ・子育て支援事業を行っていく(時間を設け地域親子の集い) 	<p>施設長研修会 講演「なぜ、病児保育が必要か - 子どもの心、親の心 - 」 講師 青山学院大学 庄司順一先生</p> <p>職員研修会 講演「子どもの心の健康を考える」 講師 社会福祉法人五豊会 豊永せつ子先生</p> <p>その他 HPの掲示板での相談</p>	<p>施設長研修会 職員研修会 その他 地域子育て支援センター、派遣型乳幼児健康支援一時預り事業、ファミリー・サポートセンター、保育サポーター、ベビーシッター等の他の育児支援グループとの連携</p>
60. 日本外来小児科学会(14年度取り組み)(15年度行動計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作成委員会よりリーフレットの作成と配布(約20種類) ・おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンについて臨床研究を展開中 ・会員からアドボカシー活動を集め、学会としてアドボカシーを展開する 	<p>1. リーフレット作成委員会より、リーフレットの作成と配布。</p> <p>2. 学会の年次集会において、いろいろな育児支援のためのワークショップが開催された。</p> <p>3. 会員から育児支援の活動を集め、アドボカシーNOWとして学会誌に連載中</p>	<p>上記の活動を継続し、日々の診療の中でも育児支援マインドをもつことが、プライマリケア医の重要な役割であることを会員に広く認識してもらう。</p>
63. のぞみの会 - アレルギー児を支える親の会 -	<ul style="list-style-type: none"> ・会員に対する「会報」発行を通じて正しい情報提供を図る 		<p>平成13年10月解散</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての13年度の取り組み	13年度の取り組み実績	14年度の取り組み行動計画
65.(社)日本女医会	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌に「健やか親子21」について記事を掲載する ・関連事業として、全国の女性医師会員を対象に「十代の性と健康」指導養成講座を10月に行う ・本養成講座用に資料集、教材を開発する ・地域のネットワーク構成の実践法を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・会誌に健やか親子についての記事を掲載 ・「十代の性と健康」指導医 養成講座開催 日時:平成13年10月28日(日) 場所:女性と仕事の未来館 4Fホール 約100名参加 大変有意義であった、という意見が多かった。継続希望者が多かった ・地域で、女医が10代の性教育を行う上で有効なビデオ及び副読本の作成 ・資料集の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く女性の環境整備への支援 ・外国人講師による講演会の後援 ・ビデオを利用した、指導医養成講座の継続 ・教育教材の開発 ・インターネットによる健康教育 ・女性医師のネットワークづくり ・地域活動への協力
69.日本臨床心理士会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への研修会の実施 ・全国大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床心理士会主催「子育て支援研修会」を開催・日本臨床心理士会会報に「健やか親子21推進協議会」を報告・各都道府県臨床心理士会「子育て支援担当理事」会議開催(各地の情報を共有)・各都道府県臨床心理士会で子育て支援研修会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 13年度の取り組みを更に発展させる
70.全国母子保健推進員連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌「母推さん」の配布 ・母子保健推進員の育成のための研修会の開催(17県) ・母子歯科保健知識の普及を図るための研修会の開催とテキスト、リーフレットの制作配布 ・母子保健に対する知識の普及啓発を推進するために10月を「母子保健強化月間」として、ポスター、リーフレットの配布 ・子どもの事故、虐待防止のための研修会の開催と教材の開発 ・妊婦の禁煙運動を推進するためのポスター、リーフレットの制作と配布 	<ul style="list-style-type: none"> 50母子保健推進会議と協力して実施 	<ul style="list-style-type: none"> 50母子保健推進会議と協力して実施予定
71.(財)児童健全育成推進財団	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年3月6日参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで子育て研修会(仮称)」を日曜日に開催し、育児中の父親を中心に男性の参加を促し、子育てへの理解を深めてもらう ・児童厚生員、放課後ケアワーカー等を対象とした研修会を開催し、健全育成に関する理念・実践について学習し、各地域で施設を通じた実践活動に取り組んでもらう